

大切な人を守るため あなたの力が必要です！ 消防団員を募集

消防団では、『自分たちのまちは、自分たちで守る』という郷土愛の下、近年予測される大規模震災時などに、地域の要となる防災リーダーとして活躍する消防団員を募集しています。掛け替えのない大切な家族・地域の人・私たちのまち。あなたの力で安全・安心に暮らせるまちにしてみませんか。

消防団とは

消防局や消防署とは違い、地域の人たちで構成される、地域に密着した防災機関です。普段は自営業者・会社員・公務員などそれぞれ仕事をもちながら、ひとたび災害が発生したときは現場に出動し、消防局職員と共に消火活動などを行います。

消防団の現状

消防団の活動内容や現状などについて、消防団本部長に話を聞きました。



消防団本部長 鈴木康伸さん

■消防団の団員数は

近年では、少子高齢化の進行や就業形態の変化により、団員数が年々減少しています(上図のとおり)。

■東日本大震災時にはどのような活動をしたのですが

当時、市の消防局が臨海部工場で発生した爆発火災への対応を行っている中、消防団員は各消防署に集結し、地域における災害対応を担いました。また五井支

団は市民の避難誘導も行いました。消防局と消防団は、どちらが欠けてもいけない『災害対応の両輪』です。

■消防団活動のやりがいは、地域の人から「地域のことをよく知っている消防団の存在は、災害時にとっても心強い」との声をよくもらいます。その言葉が団員の力になっていて、団員の多くは「出動した際に市民の方から感謝の言葉をもらったとき、消防団をやっている良かったと感じる」と活動に誇りを持っています。

また消防団に入ると、地域に住むさまざまな年代の人、さまざまな仕事をしている人との出会いがありま

す。大災害が起きたときには、被害を最小限に抑えるためには、地域の人たちが協力し合うことが大切です。地域の絆が希薄になっているといわれる近年、団員として同じ思いを共有する仲間たちと活動を共にできるのは、大きなやりがいです。

■消防団活動を通して、いざというときに備えた知識・技術も身に付きますね。災害・防災活動には、専門的な知識と技術が必要不可欠です。団員は、災害対応力を高めるため、訓練を積んでいます。その原動力になっているのは、『大切なものを守りたい』という家族と地域を愛する熱い思いです。団員には小さい子どもを持つ人も多いですが、地域の安全・安心を守るために活動する親の後ろ姿は、子どもにとっても大きな糧になっていると思います。

■訓練や行事参加に時間を取られるなど、消防団活動に悪い印象を持っている若い人もいるかもしれません。私自身、消防団に入ってから25年間ほど経ちますが、休日の訓練などで家族に迷惑をかけたこともありましたが、団員は皆、消防団員としての顔の他に、親としての顔など、プライベートの顔を持っていきます。またそれが仕事を持っていきます。そのため、団員は皆、自分ができる範囲で活動に参加しています。大切な家族や地域を自分の手で守るといふ喜びは、何物にも代え難いものです。まずは気軽に話を聞いてみてください。

消防団の主な活動内容

■災害発生時の出動・訓練

災害発生時に出動し、消火活動などを行います。またいざというときに備え、日頃から、建物火災や中継放水などさまざまな状況を想定した訓練を行います。

■救命のための指導・講習

応急救護の訓練や指導を行います。また救命講習会で指導員として活動します。



災害に備えた放水訓練



幼稚園でのパネルシアター



命を守る応急救護訓練



高齢者の安全を守る防火診断

■火災予防のための広報啓発活動など

子どもを対象としたパネルシアターなどにより、火災予防の大切さを伝えます。また一人暮らしの高齢者宅を訪問し、防火診断を行います。

■行事などへの参加

市民の防災意識を高めることなどを目的に、消防出初式や総合防災訓練などに参加します。

団員の活動を紹介

女性消防団員も活躍



予防啓発部 草野千春さん

■女性のチカラを生かして

私は消防団に入って3年目です。入ったきっかけは、女性消防団員の活動を紹介した新聞記事を見て、興味を持ったから。今は、救命講習会でAEDの使い方を指導したり、子どもや高齢者の方に火災予防の大切さを伝えたりする活動をしています。講習会の参加者から「女性だから教え方が柔らかくて良い」なんて言われることもあるんですよ。パネルシアターでは子どもたちが歓声を上げて喜んでくれますし、講習会などの活動を通じて自分の知識も増えます。普段の生活では体験できないことをしているんだなと実感しています。

■普段は2児の母

私には小学校6年生と2年生の子どもがいます。初めは不安もありましたが、女性ならではの活動があると知り、安心して入団しました。今では、活動に出るとき、子どもの「お母さん頑張って！」という声に後押しされています。子どもがいる人も安心して、一緒に活動しましょう。

共に活躍する仲間を募集

消防団の主な活動内容

左表のとおり

団員の条件など

条件 市内在住・在勤で18歳以上の健康な人(性別不問)

身分 非常勤特別職の地方公務員

待遇 報酬の他、災害時などにおける出動の手当、活動時のけがなどに対する公務災害補償、一定年数以上勤続したときの退職報償金の支給など

申込方法

電話か窓口で問い合わせてください。申込方法や活動内容、待遇などを詳しく説明します。

問合せ
消防総務課
☎(22) 81116